

協賛している「車いす空の旅事業」について

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）、神奈川福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、社会貢献活動の一環として、平成元年から神奈川新聞厚生文化事業団及びフュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会が共催する「車いす空の旅事業」に協賛しています。

「車いす空の旅事業」は、主に車いすで生活をしている肢体不自由児者とその家族を沖縄などに招待する事業であり、職員がボランティアとして同行しています。

今年度については、この事業に300万円の支援をしました。

1. 日時	平成29年4月13日（木）～15日（土）
2. 場所	沖縄（残波岬、美ら海水族館、琉球村など）
3. 主催	神奈川新聞厚生文化事業団 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 共催
4. 参加者	肢体不自由児10名とその家族、他ボランティアなど19名

5. 概要

羽田空港で行なわれた出発式では、伊坂重憲理事長（会長）が「業界を取り巻く経済環境は厳しいが、これからも空の旅に協力し続けたい。けがのないように楽しんでほしい。」と呼び掛けて見送りました。

参加者は、3日間とも天候に恵まれ爽やかな風薫る初夏の沖縄を堪能し、残波岬、美ら海水族館、琉球村などを観光しました。

夕食時には、お楽しみ会やカラオケなどを行ない、参加者は豪華賞品が当たるくじ引きに一喜一憂し、歌い踊って楽しく過ごしました。

なお、この「車いす空の旅事業」については、4月14日及び16日付の神奈川新聞にそれぞれ掲載され、5月4日には、神奈川新聞特集記事として掲載されました。



羽田空港でのお見送り



沖縄の琉球村にて